

# 伊万里

## 市議会だより

第54号

平成27年(2015年)

8月



6月補正額  
1億9,268万2千円  
補正後の一般会計予算  
235億3,240万6千円  
(前年比+3.5%)



★平成27年第3回定例会は9月4日(金)開会予定です。

平成27年伊万里市議会第2回定例会  
会 期 日 程

6月 6月8日～29日 22日間

日	種 別	内 容
8(月)	本会議	開 会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等 10件……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
9(火)	休 会	全 休 (全国市長会)
10(水)	休 会	全 休 (全国市長会)
12(金)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
16(火)	休 会	全 休 (全国市議会議長会)
17(水)	休 会	全 休 (全国市議会議長会)
18(木)	本会議	一般市政に対する質問
19(金)	本会議	一般市政に対する質問
22(月)	本会議	一般市政に対する質問
23(火)	休 会	常任委員会
24(水)	休 会	常任委員会
26(金)	休 会	正副委員長会
29(月)	本会議	意見書案1件、決議案1件……一括上程 意見書案等の提案理由説明 意見書案等に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 議案等の付議順序により討論、採決 特別委員会委員の選任、正副委員長の互選 選挙管理委員会委員及び補充員の選挙 閉 会

## 伊万里市選挙管理委員及び同補充員

次の通り選出しました。

委 員	補 充 員
永益 克子 氏 (二里町)	有尾 廣 氏 (東山代町)
岩永 孝雄 氏 (南波多町)	大川内正弘 氏 (立花町)
弘川 忠司 氏 (瀬戸町)	岩下 勝實 氏 (黒川町)
田中 恒範 氏 (波多津町)	大崎 正之 氏 (松浦町)

## 議会ホットコーナー

信頼される議会を目指して  
(就任のご挨拶)

議長 盛 泰子

4月の選挙により新たな構成となった市議会で、議長に就任しました。重責ですが、しっかり務めたいと存じます。

地方分権が進む中、地方自治体が担う役割が年々重要になっており、議会がその機能を十分に発揮しているかどうかは今、問われています。

そこで私は2つのキーワードを基に「チーム伊万里市議会」を目指します。

## ①学 ぶ

地方自治など、議員として基本的に共有しておきたい分野についての学びを深め、最新の情報を得て伊万里市議会のあり方を考える。早速、7月29日、8月10日に講師を招いての研修会を開催する。

## ②伝 える

議会と市民との意見交換の場を作るとともに、折に触れて議長が記者会見を行うなど、議会の情報発信に努める。

皆さんが選挙で投票された議員、地元の議員、そして伊万里市議会にご注目ください。どうぞよろしくご挨拶致します。



樋渡監査委員

盛議長

多久島副議長

## 会派紹介

伊万里市議会では平成23年以降会派制を導入しており、改選後新しい会派を下記の通り結成致しました。

会派の名称	所属議員(◎印は会派代表)	目的
有志会	◎前田 久年 松永 孝三 中山 光義 坂本 繁憲 力武 勝範	志を同じく議会の政策・監視機能を高め、市民から信頼される議会づくりを目指す。
新志会	◎馬場 繁 井手 勲 梶山 太 東 真生	政策の調査研究を推進し、市政の発展と議会の活性化を図る。
伊想会	◎松尾 雅宏 多久島 繁 香月 孝夫 前田 敏彦 岩崎 義弥	二元代表制を遵守し、市民感覚を常として議会改革を推進することを目的とする。
翔英会	◎渡邊 英洋	議会活動の円滑化と活性化のため
きずな	◎山口 恭寿	市政発展を目指す。
伊政会	◎前田 邦幸	議会の推進の為。
伊政クラブ	◎草野 讓	①伊万里市議会のスムーズな議会運営②多機能な幅の広い議論を展開し、議員の資質向上を図る③二元代表制の役割を十分に把握し、行政の監視能力を高め市民の負託に応える。
みどり・ みらい伊万里	◎盛 泰子	地方自治の原点に立ち戻り、二元代表制の一翼を担う議会として政策提言に努める。
伊新会	◎副島 明	議会基本条例の制定を目指す。
いけい会	◎弘川 貴紀	伊万里の継承・発展に資するため。
公明党	◎樋渡 雅純	党の政治理念にのっとり、その実現に向け活動、研鑽する。
日本共産党	◎船津 賢次	市民の皆様の声を市政に届ける。
涓水会	◎笠原 義久	議会活動を活発化にする為。

## 総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、出納室、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に属しない事項

当委員会に付託されました一部事務組合規約の変更議案1件、補正予算議案について審議の結果、原案通り可決すべきものと決定いたしました。主な内容は次の通りです。

### ○一部組合規約の変更

佐賀県市町総合事務組合の交通災害共済に関する事務の共同処理に伊万里市が参加することに伴う同組合規約の変更です。

### 総務費

○社会保障・税番号制度システム構築事業  
……………1,730万4千円

平成28年1月から利用が始まる社会保障・税番号制度に対応するシステム構築委託料及び地方公共団体情報システム額の確定による補正です。

システムダウンのバックアップ体制については、伊万里市と杵藤広域圏組合(武雄市)の2か所でバックアップ体制を整備しているとのこと。また、市民への周知徹底を十分行うよう要望しました。

○婚活啓発事業(地域少子化対策強化交付金)  
……………276万8千円

地域少子化対策強化交付金を活用し、結婚・妊娠・出産・育児の一貫した支援を行う事業である。

「おせっかいおじさん、おばさん」の人数は、平成26年度まで各町1名を平成27年度から2名に増やし、婚活だけでなく出産や子育ても含んだDVDを作成しサポーターや公民館に配布し、企業への貸出も計画している。

### 消防費

○消防団施設整備支援事業……………150万円  
分団の統合による小型動力ポンプ積載車格納倉庫の新設に要する経費を補助します。

旧牧島分団と旧伊万里分団が統合し伊万里分団第3部となり、旧牧島分団格納庫の老朽化に伴い新設されます。



現地視察：伊万里分団第3部

○防災活動事業……………52万6千円

地域防災力向上促進事業費補助金を活用し、地区防災活動の活性化と市民の防災意識の向上を図るため、地区防災委員の研修会を開催するとともに「わがまち・わが家の防災マップ」を活用した地区ごとの防災訓練を実施する事業です。

災害時における情報収集及び指揮系統命令の訓練については、初動対応訓練を平成25年に実施しており、今後も情報伝達訓練と合わせて定期的実施されます。



総務委員会メンバー

◎松尾 雅宏 ○力武 勝範  
盛 泰子 中山 光義 前田 敏彦  
馬場 繁 副島 明 渡邊 英洋

## 文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、  
教育委員会

当委員会に付託されました平成27年度一般会計補正予算（第2号）について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。主な内容は下記のとおりです。

### 民生費

- ・軽度・中度難聴児補聴器給付事業 …20万4千円  
身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中度（30db～70db）難聴児の言語習得、教育等における健全な発達に資するため、補聴器購入費の一部を支給する。

### 衛生費

- ・独身者向け育児体験事業（地域少子化対策強化交付金） ……22万8千円
- ・子育てプログラム教室開催事業（地域少子化対策強化交付金） ……38万円  
地域少子化対策強化交付金を活用し、育児に悩む母親を対象に過保護や放任等の間違っただ育児の見直しと、親子の良好な関係により児童虐待を防止するための教室を1回8組程度で2回開催する。
- ・環境センター管理運営事業（浸出水処理施設改修工事） ……2,144万1千円  
平成28年1月からの佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設の稼働に伴い、現環境センターの閉鎖により、現在、既設焼却炉の冷却水として循環再利用している最終処分場浸出水を施設外へ放流することとなるため、処理施設を改修するもの。

### 教育費

- ・児童生徒の活用力向上研究事業 …75万円  
国語、算数、数学を中心に、各教科における基礎知識の活用力を高めるとともに授業改善等に向けた研究を行い、教員の指導力及び児童生徒の学力向上を目指すもの。今年度は中学校区での取り組みとして国見中学校区の小中学校3校で実施。
- ・中学校学力向上研究事業 ……20万円  
家庭学習と連携した学習改善を通して基礎学力を定着させる学習習慣の確立方法を研究することで、生徒の個性と創造性を育み生きる力を培うとともに、教職員の資質の向上を図るもので、山代中学校で実施。

- ・図書館開館20周年記念事業（森永太一郎顕彰コーナー設置） ……151万7千円  
伊万里出身で森永製菓の創業者である森永太一郎ゆかりの品や写真等を常設展示するコーナーを生誕150周年の節目に設置するとともに、図書館開館20周年記念事業に合わせ、顕彰コーナー披露式典を開催。
- ・散弾銃射撃場環境調査事業 ……76万6千円  
散弾銃射撃場からの鉛散弾による土壌汚染への対策を図るため、土壌及び水質調査を行うもの。

### 現地視察

現地視察では、環境センター及び伊万里市民図書館の視察を行いました。

環境センターでは、浸出水処理施設改修工事の概要並びに施設管理運営について説明を受けました。環境センター最終処分場浸出水の水質については、環境基準値内ではあるが、塩化物イオンの数値が高いため、農業用用水の基準値の600mg/ℓ以下まで希釈を行い放水することとあります。



環境センターでの視察の様子

伊万里市民図書館では、駐車場舗装工事および図書館施設概要の説明と「森永太一郎」企画展示の概要などの説明を受けました。



文教厚生委員会メンバー

- ◎梶山 太 ○東 真生  
岩崎 義弥 前田 邦幸 弘川 貴紀  
船津 賢治 前田 久年 樋渡 雅純

## 産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

当委員会に付託されました平成27年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。主な内容は以下のとおりです。

## 〔予算議案〕

## 平成27年度伊万里市一般会計補正予算(第2号)

## 農林水産業費

○6次産業化支援事業 ……………469万2千円  
古代米の里づくりや「伊万里梨」の規格外品等を利用した商品開発に要する経費を補助するものです。

○園芸農業機械・施設等整備支援事業  
……………2,889万2千円  
収益性の高い園芸農業確立を図るため、収量・品質の向上や省エネ・省力化等の取り組みに必要な機械・施設等の整備に対して支援を行うものです。

○ため池整備促進事業 ……………1,460万1千円  
平成26年度に県で実施されたため池一斉点検に基づき、防災重点ため池(水防警戒を要するため池)について堤体の安全性を調査する事業です。今回は16カ所のうち3カ所の調査をされます。

○農業用排水路施設等整備事業  
……………4,740万5千円  
健全な圃場を維持するとともに乾田化して裏作の作付けを可能にするため、暗渠排水の施工及び区画拡大に要する経費を補助する事業です。

○森林・林業再生基盤づくり交付金事業  
……………997万5千円  
森林・林業の再生の基盤となる施設・機械整備に要する経費を補助するものです。

## 商工費

○グリーン・ツーリズム推進事業  
……………350万4千円  
グリーン・ツーリズムのさらなる推進を図るため、農家民泊体験メニューの創設等に要する経費を補助するものです。

## 土木費

○煤屋川改修事業 ……………305万5千円  
煤屋川の改修整備に要する事業費です。

## 災害復旧費

○農地災害復旧事業 ……………427万6千円  
4月3日の豪雨による農地(田4か所)の復旧に要する事業費です。

## 平成27年度伊万里市工業用水道事業特別会計補正予算

・資本的収入 ……………29万7千円  
・資本的支出 ……………19万7千円  
国・県の補助事業により取得した長浜ダムに隣接する水道施設用地の一部を売却することに伴うものです。

以上の議案審査における主な意見は次の通りです。

・農業用排水路施設等整備事業の工法について、より長期間の機能維持ができるよう対応を求める。



産業建設委員会メンバー

◎香月 孝夫 ○井手 勲  
多久島 繁 坂本 繁憲 山口 恭寿  
松永 孝三 草野 譲 笠原 義久

## 議会運営委員会

平成27年6月22日、盛議長より議員定数の見直し及び議会基本条例制定をはじめとする議会改革の推進について諮問されました。(14ページをご参照ください)

### 1. 議員定数について

削減の是非を結論付け、適正な議員定数を提案すること。

- ・その過程では、議会のあり方についての学びや議論を深め、市民の意見を開く場を設けること。
- ・途中経過について本会議や議会だよりなどで報告すると共に、可能な限り早い時期に結論を出すこと。

### 2. 議会改革について

議会基本条例の制定へ向けた議論を始めること。

- ・市民に開かれた信頼される市議会となるよう、様々な形態で市民と議会との接点を作ること。
- ・会議規則、委員会条例などの再点検と同時に、議会の慣習を見直し、内部的な改革も積極的に進めること。

委員長	草野 讓			
副委員長	山口 恭寿			
委員	中山 光義	香月 孝夫		
	馬場 繁	副島 明		
	松尾 雅宏	松永 孝三		



## 特別委員会の設置

### 地方創生調査特別委員会

地方創生関連法が制定され緊急的取り組みに対する措置がなされる中、地方においては地方創生に関する市町村総合戦略を策定し、諸施策の推進・効果検証等の各段階における十分な議論が求められており、各施策への対応等に関する調査活動を行う特別委員会。

委員長	渡邊 英洋			
副委員長	弘川 貴紀			
委員	力武 勝範	前田 敏彦	井手 勲	
	梶山 太	笠原 義久		



### 防災・環境施設対策調査特別委員会

原子力発電所事故時の安全対策を含めた防災対策に関する調査活動及び既存施設の老朽化に伴う新たな一般廃棄物処理施設の整備等に関する調査活動を行う特別委員会。

委員長	前田 久年			
副委員長	坂本 繁憲			
委員	岩崎 義弥	前田 邦幸	東 真生	
	船津 賢次	樋渡 雅純		



# 一 般 質 問 (質問順)

## 一般質問事項

議員名	質問事項	議員名	質問事項
樋渡 雅純 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>マイナンバー制度について               <ol style="list-style-type: none"> <li>現時点での準備状況と想定される課題</li> <li>自治体クラウド移行への見通し</li> <li>セキュリティへの対応</li> <li>情報弱者への対応と周知</li> </ol> </li> <li>子どもの貧困について               <ol style="list-style-type: none"> <li>本市の現状と支援策</li> <li>生活困窮者自立支援制度の活用</li> <li>ひとり親家庭への寡婦控除みなし適用について</li> </ol> </li> </ol>	梶山 太 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化への対策と影響について               <ol style="list-style-type: none"> <li>行政区に対する支援策</li> <li>空き家の現状</li> <li>個人及び共有の土地・施設の樹木管理</li> </ol> </li> <li>伊万里市へのアクセス道路について               <ol style="list-style-type: none"> <li>県道25号線・女山トンネルの進捗</li> <li>トンネル開通後の効果</li> <li>西九州道路延伸の効果</li> <li>延伸による交通渋滞の解消状況</li> </ol> </li> </ol>
前田 邦幸 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>市長の政治理念とビジョン</li> <li>地元企業の活用について               <ol style="list-style-type: none"> <li>地元企業活性化</li> </ol> </li> <li>空家対策について               <ol style="list-style-type: none"> <li>市街地(商店街)現状と今後の対策</li> </ol> </li> <li>教育施設の老朽化に対するの将来計画               <ol style="list-style-type: none"> <li>小中学校について</li> <li>保育園について</li> </ol> </li> <li>伊万里休日・夜間急患医療センターについて               <ol style="list-style-type: none"> <li>利用状況等</li> <li>薬の処方について</li> </ol> </li> </ol>	中山 光義 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>今回の統一地方選挙(市議選)の総括について               <ol style="list-style-type: none"> <li>投票率等の総括</li> <li>現状の選挙PR、啓発について</li> <li>若年層の投票率低下に対する対策</li> <li>期日前投票所の増設、見直しについて</li> </ol> </li> <li>地方創生について               <ol style="list-style-type: none"> <li>伊万里市の取り組み</li> <li>地方・地域創生への効果は</li> <li>伊万里版地方創生にかける市長の思い、決意</li> </ol> </li> </ol>
山口 恭寿 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>保育行政について               <ol style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援法について</li> <li>伊万里市の待機児童の状況</li> <li>保育士不足問題について</li> </ol> </li> <li>いまり秋祭りについて               <ol style="list-style-type: none"> <li>いまり秋祭りの現状</li> <li>平成16年当時の状況</li> <li>ポスターについて</li> <li>船屋橋について</li> </ol> </li> </ol>	副島 明 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>博物館、美術館基本構想に基づく施設概要案について               <ol style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトチームの調査研究の経過</li> <li>残されている調査、研究の課題</li> <li>建設を求めている団体からの具体的な提案</li> </ol> </li> <li>地方創生の取り組みにおける伊万里版戦略について               <ol style="list-style-type: none"> <li>意見集約の体制</li> <li>庁内組織による戦略案の策定手順</li> <li>教育委員会の地方創生への取り組み</li> </ol> </li> <li>伊万里市駐在員設置体制について               <ol style="list-style-type: none"> <li>町(地区)ごとの駐在員の人数と一人あたりの受け持ち世帯数</li> <li>駐在員の配置再編について</li> </ol> </li> </ol>
前田 敏彦 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>市内小中学校の維持管理について               <ol style="list-style-type: none"> <li>校舎建て替え計画</li> <li>耐震対応について</li> </ol> </li> <li>伊万里市議会議員選挙の選挙管理委員会の対応について               <ol style="list-style-type: none"> <li>投票率について</li> <li>選管の対応、対策について</li> </ol> </li> </ol>	馬場 繁 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>企業誘致の推進について</li> <li>道路整備について</li> </ol>
香月 孝夫 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>行政区の現状と今後について               <ol style="list-style-type: none"> <li>行政区の現状分析</li> <li>区長と駐在員、その役割と人数</li> <li>各報酬額と支払総額</li> <li>より良い地域づくりを目指すには</li> </ol> </li> <li>ドローン(無人での飛行が可能な航空機)について</li> </ol>	岩崎 義弥 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>鍋島藩窯公園がけ崩れについて               <ol style="list-style-type: none"> <li>現状と対応、今後の予定</li> </ol> </li> <li>市ホームページの過去の記事情報の削除について               <ol style="list-style-type: none"> <li>削除をする理由</li> <li>今後の方針について</li> </ol> </li> <li>市民の意見を市政に反映させる取り組みについて               <ol style="list-style-type: none"> <li>現状</li> <li>今後の取り組みについて</li> </ol> </li> </ol>
船津 賢次 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>伊万里市の財政について               <ol style="list-style-type: none"> <li>伊万里市の健全化判断比率の状況</li> <li>第4工水建設事業の影響</li> <li>今後の対応</li> </ol> </li> <li>子どもの医療費助成について               <ol style="list-style-type: none"> <li>伊万里市の助成制度の現状</li> <li>助成制度の拡充</li> </ol> </li> <li>市長退職金について</li> </ol>	松尾 雅宏 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>通学道路における防犯灯設置状況と対策について</li> <li>有害鳥獣対策について               <ol style="list-style-type: none"> <li>捕獲した有害鳥獣最終処分方法について</li> <li>電気牧柵とワイヤーメッシュの更新について</li> </ol> </li> <li>経営所得安定対策について               <ol style="list-style-type: none"> <li>農業生産法人化への伊万里市の考え方と対応</li> </ol> </li> </ol>
梶山 太 (一問一答)	<ol style="list-style-type: none"> <li>人口減対策について               <ol style="list-style-type: none"> <li>合併してからの人口推移</li> <li>15歳から49歳までの女性人口推移</li> <li>保育園、幼稚園等の園児減少に対する取り組み</li> </ol> </li> </ol>		



一般質問

子どもの貧困対策について

樋渡 雅純

質問 子供の貧困率は、国際比較もなされており「世帯収入から国民一人の所得を試算して、真ん中の人の所得の半分が届かない人の割合」とされている。2012年度は、16.3%。300万人で6人に一人の状況にある。本市の小中学校での準要保護、生活保護世帯の子供の数は。

答弁 市民部長

小学校336人、中学校227人、生活保護88人。

質問 「昨年1月に「子供の貧困対策法」が成立し、教育の支援、生活支援、保護者への就労支援、経済的支援が盛り込まれている。まず県が計画をまとめる義務があるが県の状況はどうか。

答弁 教育部長

県として計画策定に向け、本年度末取りまとめるべく、準備に入っている。

質問 関係の深い「生活困窮者支援制度」が4月に施行さ

れた。①市の取り組む事業内容と今後の方向性は。②任意メニューに「子供の学習支援」もあり検討状況はどうか。

答弁 ①市民部長 ②教育部長

①支援事業の運営は専門員の配置等もあり、社会福祉協議会に委託し、必須事業である自立相談支援と住宅確保給付金支援を行っている。任意事業の就労準備や家計相談支援は今後の状況を見てみたい。②今後の検討課題だ。

質問 国勢調査ではひとり親世帯が全国で75万世帯。平均収入は213万円と一般家庭の4割に満たない。①本市のひとり親、非婚のひとり親の状況は。ひとり親世帯に対しては、「寡婦控除」が適用され税、保育料等減免されている。非婚のひとり親世帯に対しては、適用されず大きな負担となっている。②保育料、公営住宅において同等に「寡婦控除」のみなし適用を検討すべきではないか。

答弁 市民部長

①1249世帯で、非婚は78世帯。②全国の市町村での取り組みは承知している。国の法改正を待ちたい。

市長の政治理念とビジョン

前田 邦幸

質問 市長の残り3年のビジョン。

答弁 市長

3つのキーワード①安心・安全のまちづくり②伊万里に住んで良かったと思える福祉政策や防災対策・子どもたちを安心安全に育てられる町づくり。③活力④若者の地元雇用・農林水産業がより活発に。⑤発展⑥時代にあった施策。伊万里湾と西九州道路を活用した発展。

地元企業の活用について

質問 地元企業活用化。

答弁 総務部長

元請け及び下請けも地元企業を選定するよう、平成23年4月から契約約款の中に選定要請を明確にしている。できない場合、理由書を付けさせている。

空き家対策について

質問 市街地（商店街）現状と今後の課題。

答弁 建設部長

商店街では2件相談あり、そのうち1件は適正管理のお願いをし、その後の対応を市に報告してもらう。今後危険な建物には、平成27年5月26日施行の空き家条例に基づき助言及び指導・勧告・命令等を段階にしていく。

教育施設の老朽化に對しての将来計画

質問 小中学校について。

答弁 教育部長

本年度中に耐震基準を満たしていない25棟の内、16棟の補強工事が完了予定、残り1は校舎の建替等で対応。

質問 保育園について。

答弁 市長・市民部長

施設の老朽化に対しては点検等を行い必要に応じて対応していく。市の財政も厳しいので、公立保育園の民営化も視野に入れ様々な観点から検討したい。

伊万里市の保育行政について

山口 恭寿

質問 伊万里市の保育園における待機児童の状況は。

答弁 市民部長

待機児童の定義から言うと、伊万里市では待機児童は発生していない。

質問 伊万里市中心部では0〜2歳児が希望通りに入園出来ない状態になっている。根本的な問題は保育士不足が原因と思われるが、公立保育園において、正規職員と臨時職員の平均給与はどのようになっているか。

答弁 市民部長

公立保育園における臨時職員の平均給与は年額164万円。正規職員の平均は552万円となっている。

質問 臨時職員の勤務時間と、正規職員と臨時職員の割合はどのようになっているのか。

答弁 市民部長

臨時職員は1日7時間勤務となっており、正規職員

一般質問

39人に対し臨時職員は52人。  
**質問** 今年4月から施行された子ども子育て支援法において、短期保育も8時間となっており、7時間勤務だと当然保育時間が足りない。また職員の割合も不均等ではないか。

**答弁** 市民部長

公立保育園の民営化を考え、採用を抑えて来た。臨時職員の勤務体系と賃金の処遇については、市の財政状況は厳しいが、早急に格差を改善するよう努力したい。

**質問** 建物の老朽化も進んでおり、私立保育園だと国から75%の補助があり、現在正規職員で働いている職員さんを守る意味でも2園くらい公立として残し、残りの民営化は避けられない状況ではないか。

**答弁** 市長  
 公立保育園の民営化問題は、さまざまな観点から検討したい。



市内小中学校の維持管理について

前田 敏彦

**質問** 校舎の耐用年数及び建て替え計画は。

**答弁** 教育部長

耐用年数は構造上問題なければ70年から80年と試算。今後10年間で伊万里中学校、東山代小学校の建て替え計画予定。

**質問** 少子化による統廃合として小中一貫校の計画は。

**答弁** 教育部長  
 また遠方からの通学方法は。

**質問** 現在、滝野小中学校、南波多小中学校が隣接型小中一貫校となっている。波多津の2小学校の統合の話合いがもたれている。通学には路線バスを活用しスクールバスなどの運用も考慮していく。

**質問** 耐震調査、現状について。伊万里市の耐震化の現状は。

**答弁** 教育部長

81.4%が終了。伊万里中学校と東山代小学校を建て替えずれば終了予定。  
**質問** 体育館の吊り天井等の非構造部材の耐震化は。  
**答弁** 教育部長  
 夏休みから順次取り掛かり27年度中に完了予定。

伊万里市議選の選管の対応について

**質問** 投票率の分析(年代別)。  
**答弁** 選挙管理委員会事務局長  
 過去3回の結果は低下している。若年層の選挙離れに目がいきがちだが、40代50代の下げ幅が大きい。  
**質問** 選管の対応、対策は。  
**答弁** 選挙管理委員会事務局長  
 得票数に間違いはなかったが、配慮に欠けた速報になった。今後は均等な速報に改善していく。  
**質問** 選挙権が18歳以上になったが、今後の対策は。  
**答弁** 選挙管理委員会事務局長  
 これまで以上に周知活動を徹底し、関係部署と連携し投票率を上げるよう努力していく。

行政区の現状と今後について

香月 孝夫

**質問** 現在の行政区数及び推移状況は。

**答弁** 総務部長  
 182行政区。増加率の大きい行政区は156%増、減少率の大きい行政区は48%減。(近年10年間)

**質問** 区長と駐在員のそれぞれの役割。

**答弁** 総務部長  
 【区長】区民のとりまとめ全般。区内の道路整備や造成工事等開発行為等。運動会や祭り・行事等の開催。区内の清掃環境活動。区費の徴収など広範囲にわたる活動。  
 【駐在員】各種伝達事項の周知徹底(配布物の配布及び揭示)。災害情報などの収集報告等市の行政事務の補助。

**質問** 駐在員報酬の算定方法と金額。

**答弁** 総務部長  
 【駐在員報酬】世帯割額(世帯数に応じた額、一世帯200円)+均等割額(駐在員平等額、2万5300円/月額)

**質問** 行政区の課題をどのように捉えているのか。  
**答弁** 総務部長  
 人口減少により、①区長などのなり手がいない。②区の行事が成り立たない。③町の行事に人数不足のため参加できない。④子供の減少により、会行事も実施しにくい。等の声がある。

ドローン(無人での飛行が可能な航空機)について

**質問** 現状をどのように捉えているのか。  
**答弁** 総務部長  
 現段階では具体的な検討まで至っていない。

**質問** 規制や有用性などについて調査研究をすすめるべきではないか。  
**答弁** 市長  
 規制と活用の両面について調査研究を進める。

一般質問

伊万里市の財政について

船津 賢次

質問 県内10市の「健全化判断比率」はどのようになっているか。

答弁 政策経営部長

実質公債費比率は18・3%、将来負担比率は149・7%となっており、県内10市で一番高くなっている。

質問 第4工水建設事業費と伊万里市の負担額は。

答弁 水道部長

総額約170億円、伊万里市の負担は約60億円となっている。

質問 第4工水建設は「企業からの税収で賄われる」と説明されていた。それを検証するために給水開始の前後で税収がどうなったかをお聞きしたい。

答弁 総務部長

給水開始前5年間の年平均は9億5600万円。給水開始後5年間の年平均7億9500万円となっている。

工業用水道会計について

質問 給水開始後の方が年約1億6千万円も少なくなっている。当初計画は成り立たなくなっている。これが、伊万里市の財政を厳しくしているのではないか。

当初計画では給水収益4億1千万円、運営費、管理費3億1千万円、毎年1億円の留保資金がでると説明されていたが、どうなっているか。

答弁 水道部長

経常損失4億8600万円、累積で16億4300万円の赤字となっている。

質問 景気の変動で税収も水道料金も大きく見込みを下回っている。サムコの誘致は県の主導で行われたと思っているが、こうした現状について県と協議し、応分の負担を求めているのではないか。

答弁 政策経営部長

健全化判断比率も改善に向かつており、その環境にない。

人口減対策

梶山 太

質問 伊万里市が昭和29年に合併してから60年を経過したが、その間の人口移動はどうなっているのか。

答弁 政策経営部長

合併後は政府のエネルギー政策の転換で、炭坑の閉山が生じた事により、15年間で26%の人口減となった。昭和55年から60年にかけては微増の歩みである。それ以降から現在までは緩やかな減少傾向となっている。

また、将来人口推計では、2040年(平成52年)に4万5600人と算出されている。

質問 人口減少問題は「待ったなし」の状態で、伊万里市としても施策検討が必要と考えるが執行部の考えは。

答弁 市長

人口減少問題は全国的な流れと捉えている。その対策として様々な自治体が独自の施策を打ち出している。

統一地方選挙の総括について

中山 光義

質問 若年層を中心とした投票率は。

答弁 選挙管理委員会事務局長

全体の投票率は67・43%で投票率は低下傾向にあり、特に20代30代の投票率は低下傾向が著しい。

質問 若年層の投票率低下に対する対策は。

答弁 選挙管理委員会事務局長

学校教育との連携、協力を図りながら啓発を行っていき、インターネットを活用した情報発信、出前講座も推進していきたい。

質問 期日前投票所の増設、見直しについて。

答弁 選挙管理委員会事務局長

職員の体制問題、ネットワークの構築問題等があり、増設、見直しについては考えていない。

少子高齢化対策

と承知している。伊万里市の人口に関しては合計特殊出生率が2・11人で、これは全国的に見て上位にランクされる。施策としては企業誘致、雇用の確保を考えるとともに、ふるさとに対する愛着心と誇りを持つ人が増えると人口減は抑止できると考える。また、今後は市民協働のまちづくりを目指していきたい。

質問 少子高齢化が進む中、空き地や空き家の樹木管理に対し、支援の形はどのように考えるか。

答弁 市民部長

市としては環境基本計画等をベースに環境諸問題に対処している。空き地等個人所有の樹木管理については、所有者と連絡を取り伐採を丁寧に依頼している。人的支援は無理であるが、現在の機械・器具の貸し出しでの支援の形を継続したいと考える。

※紙面の都合上、質問を一部割愛しています。

一般質問

地方創生について

質問 伊万里市の取り組みについて。

答弁 政策経営部長

『「地方創生」若者で考える伊万里の会』、『伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定懇話会』等の会議で協議を行い進めている。

質問 プレミアム商品券、観光プレミアム旅行券の効果は。

答弁 産業部長

消費喚起の意味から、経済効果は大きいと考えている。また、旅行券については、観光客の確保と、間接的な効果としてリピーター客の獲得にもつながっている。

質問 伊万里版地方創生にかける市長の思い、決意は。

答弁 市長

周辺地域が元気になることが重要であり、伊万里若者未来塾を創設し、市内の若者と議論を深め、若者が活躍する場をつくりたい。

博物館、美術館の施設概要案について

副島 明

質問 庁内プロジェクトの調査、研究の経過。

答弁 政策経営部長

博物館、美術館基本構想に基づいて市役所内のチームで、建設する場合のイメージを提示しているもので、新しく建設することを示したものではありません。

質問 今の伊万里市の財政状況、政策の優先順位を考えると、新しく建設するより現存する施設を利用することが現実的ではないか。

答弁 市長

新しく建設するなら財源の裏付けや運営方法など検討する期間が必要です。民間の既存施設を利用する方法もあると思う。いずれにしても、もうしばらく検討期間が必要と思う。

地方創生の取組み、伊万里版戦略について

質問 意見集約の体制と庁内案の策定手順。

答弁 政策経営部長

庁内の各部署からは8月までに意見集約を済ませて、10月までに市民からの意見をまとめる予定です。

質問 留守家庭児童クラブが4年生からはない状況であるので、社会教育として子供の居場所づくりを地方創生に位置づけ補完的な政策ができないか。

答弁 市長

新しい取組として考えていきたい。例えば大坪地区は赤門塾などインパクトのある名称を考えてモデルとして考えることができる。

駐在員の配置再編について

質問 受け持ち世帯が少ない近隣地区は話し合いで区長の総代を選んでもらい、総代に駐在員をお願いすることができないか。

答弁 市長

区長会とも意見交換をしていきたい。

企業誘致の推進について

馬場 繁

質問 ①平成20年度実施の内陸型工業団地開発適地調査の結果とその開発の計画は。②働く場の確保や税収増等本市経済の活性化を図るため内陸型工業団地の開発は必要と思うが市長の考えは。

答弁 産業部長

①企業立地用地が残り少なくなり内陸型工業団地開発適地調査を松浦・東山代の2地区で行った。結果は2地区ともに開発適地で其々に有効面積20ha・事業費30億円・事業期間5年であったが、当時は冷え込んだ経済情勢下において注文型開発適地と位置づけている。

答弁 市長

②新たな雇用の場の確保に向け企業誘致は進めていく必要があると考えている。内陸型工業団地開発は土地開発公社での先行投資も考えられるが多額の費用を要

道路整備について

しりスクも大きいためオーダーメイド方式で取組んでいきたい。

質問 西九州自動車道が伊万里へ延伸してきたが道路網として市道の位置づけは。また道路網として伊万里東IC(仮称)と松浦町松浦バイパスを結ぶ道路建設をどう考えるか。

答弁 建設部長

国・県道等主要道路を結ぶ幹線市道の機能向上の必要性は認識しており本年2月に開通した谷口ICから北西部へのアクセス道路として市道重橋・中山線の整備に取組んでいる。平成29年度供用開始予定の伊万里東IC(仮称)に市道府招・藤川内線の国道接続部の整備を当面の目標として取組み、その延長となる松浦バイパスまでの

の道路整備は今後の課題として考えていきたい。



一般質問

市民の意見を市政に反映させる取り組みについて

岩崎 義弥

**質問** 取り組みと成果をお尋ねします。

**答弁** 総務部長

公募や学識経験者、関係団体の委員で構成された58の審議会、懇話会が定期的に開催され、市の施策推進に大きな役目を果たしていただいている。

パブリックコメントについては後半だけではなく早い段階で意見をいただく仕組みに変えていく予定。

**質問** 市民の知恵と力をお借りすべくファシリテーターを立てるなど考えられた「市民との対話の会」を開催してはいかがでしょうか。

**答弁** 市長  
早速「地方創生 若者で考える伊万里の会」、「市長と語る会」などで応用を検討したい。

鍋島藩窯公園がけ崩れについて

**質問** 現状、市の対応をお尋ねします。

**答弁** 建設部長

8月の献上登り窯焚きに間に合わせるため臨時議会での補正予算を組み工事契約を締結した。地元関係者と密に連絡を取り計画通り終わらせたい。

市ホームページの過去の記事情報の削除について

**質問** 削除する理由をお尋ねします。

**答弁** 総務部長

情報に新鮮さや正確さを持たせるためにその期限が到来した時は自動で削除する設定としている。また議事録等は文書規定に基づき文書の保存年限と同様の扱いとしている。

県内他市の状況も調査したが削除する方針だったため、これまで同様に運用したい。

議員ご指摘の内容は県内10市のホームページ担当者が集まる会で議題としてあげ、県内でも議論をしていきたい。

通学路における防犯灯設置対策について

松尾 雅宏

**質問** 平成21年に供用した204号バイパスが啓成中学に通う子供達の通学路に指定されているが、約2kmに亘り街灯設置がなされていない！部活の帰りには真っ暗となり民家が一軒もなく危険であるがその対策を尋ねる。

**答弁** 市長

自分もそこに夜8時に立ってみた。すると散歩する人や、中学生が暗い中を帰宅していたのを見て何とかしようと考えた。議員提案の国の補助事業「防災・安全交付金」を活用して建設部所管により取り組む。

有害鳥獣対策について

**質問** イノシシの捕獲頭数は年間3千頭を越えるがその処分に猟友会の方は困っている。焼却施設について、

以前にも同様の質問をしたが、その後どうなっているのか。

**答弁** 市長

県での専用焼却施設の設置については具体的にはなっていない。しかし、県下共通の課題であり市長会でも知事に強く要望していく。又、埋設場所についても鳥獣保護法のことは承知しているが、猟友会の方々と話し合い斡旋を行っていく。

経営所得安定対策について

**質問** この制度に乗るためには、平成27年6月末までに法人化が見込まれる組合なのかの判断が市に求められるがどうするのか。

**答弁** 産業部長

本年6月末までに確認に必要な書類を出して頂き、現在の7つの組合を農政局に提出する予定でいる。更に改善を行うため、現在の7つの組合と協議を深め、地域が抱える課題解消を図る。

意見書

○集团的自衛権行使容認の閣議決定を具体化する閣連法案の慎重審議を求め意見書

提出者 船津 賢次  
坂本 繁憲  
提案理由 憲法解釈を時の内閣が変更し、違憲の疑いがある重要な法案を、わずか2ヶ月程度で多数にものを言わせて成立させるようなことは、法治国家民主国家では絶対許されるものではない。よって法案の慎重な審議を求めたいので、意見書を政府及び国会に提出する。

【採決結果】

本会議……不採択  
(賛成少数)



# 議会と市民の意見交換会

## － 議員定数について －

議会運営委員会では、議員定数の見直し及び議会基本条例制定をはじめとする議会改革の推進について議長の諮問を受け、下記の通り市内13ヶ所の公民館にて、市民の皆様との意見交換会を開催する事になりました。これは伊万里市議会として初めての取り組みであり、市民の皆様への生の意見をお聞かせ頂ければと思っております。どの会場でも結構ですので、是非宜しくお願い致します。

	期 日	時 間	会 場
1	8月18日(火)	19:00~20:30	東山代公民館
2	8月20日(木)	19:00~20:30	松浦公民館
3	8月26日(水)	19:00~20:30	大川公民館
4	8月27日(木)	19:00~20:30	黒川公民館
5	9月29日(火)	19:00~20:30	立花公民館
6	9月30日(水)	19:00~20:30	山代公民館
7	10月3日(土)	13:30~15:00	伊万里公民館
8	10月6日(火)	19:00~20:30	南波多公民館
9	10月8日(木)	19:00~20:30	二里公民館
10	10月20日(火)	19:00~20:30	大川内公民館
11	11月5日(木)	19:00~20:30	波多津公民館
12	11月10日(火)	19:00~20:30	大坪公民館
13	11月12日(木)	19:00~20:30	牧島公民館



議会からのお知らせ

### 編集後記



改選後最初の議会だよりの発行になります。伊万里市議会は昨年議員定数問題で大きく揺れ、これから議員定数問題、議会改革に取り組んで行く事になっておりますが、こちらから市民の皆様にお伝えしたい情報だけでなく、市民の皆様が知りたい情報を中心作っていただければと思っております。今までの議会だよりは文字が多くて読みにくいとか専門の言葉が多くて分かりづらい等のご意見があり、それをどう変えて行くかが議会だよりのテーマでした。

今回、4人の新人議員が編集委員になった事で、市民目線での情報発信が出来るようになったのではないかと思っております。

市議会は市民の皆様から見えにくい所もあると思いますが、今回から議会だより編集委員会では包み隠さ

ず市民の皆様にも市議会の活動をお伝えして行く所存です。

今後、議会だよりだけではなく、市議会へのご意見もご遠慮なくお聞かせ頂ければ幸いです。何卒、宜しくお願い致します。(山)



#### 編集委員

◎山口 恭寿 ○井手 勲  
岩崎 義弥 坂本 繁憲  
力武 勝範 弘川 貴紀  
顧問 草野 讓  
多久島 繁

発行 伊万里市議会

伊万里市立花町二五五-1  
☎0955-23-2694  
F-mail:city@city.ariwari.jp  
印刷 市議会だより編集委員会  
山口印刷株式会社